



## 有備無患～備えあれば患いなし～

公益社団法人 日本防犯設備協会 監事  
サクサ株式会社 執行役員 SI本部長 西牟田 靖



冒頭、令和6年能登半島地震により被害を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

少し自己紹介させていただきますと、サクサ株式会社に入社しましたのは2022年7月でありまだ2年目社員でございます。それまではNTT西日本に勤務しておりまして、サクサとはビジネスホンなどの情報機器で接点がありご縁をいただきました。防犯設備については未熟でございまして、違った観点で寄稿させていただきます。

生まれたのは九州の田舎、佐賀県の吉野ヶ里遺跡の近くです。大学まで九州におり、就職してからは転勤の連続で東京、福岡、大阪など8回の引っ越しを経験しました。約10年前の東京勤務時に子供の学校の関係で家族は東京居住を決め込み、私はそれから大阪など西日本エリアに逆単身、この度サクサ入社を機に10年振りに家族と同居となった次第です。

この住居エリア、引っ越しの多さから（防犯ではありませんが）防災、地震についての体験をご紹介してみたいと思います。

みなさんは九州勤務、お住まいの経験はおありでしょうか。私が子供の頃、九州は地震がほとんどなく、地震があるとそれこそ大騒ぎをしていた記憶があります。地震の代わりに雷、雷害が多いという通説もありました。そのため、住居の家具に転倒防止の対策などしたことはありませんでした。そのような体験しかない中、転勤を重ね、結婚して京都の社宅に入った2001年頃に、初めて地震対策として家具の転倒防止の突っ張り棒を購入しました。阪神淡路大震災の記憶もありましたし、子供が産まれると防災の意識も高くなるものです。間取りの関係で寝室に大きい家具を入れたので、どうせ買うなら、とけっこう頑丈なものを購入し、幾度の転勤に家具と一緒に連れまわし、つい最近まで頑張って箪笥、食器棚などを支えてくれていました。

防災リュックなるものを準備したのもこの頃です。有事の際の様々なグッズが売っているので東急ハンズなどで調べながら買い集めました。買ってからは幸いにも使うことはなくずっとそのままなので、この原稿を書きながら、「リュックを開けて中身をチェックしてみよう」と思い立ったのです。みなさんも防災グッズをお持ちかと思います。こういったトリガがないとなかなか思いつかないものです、いざというときに開けてみたら…というがないようチェックしてみてください。私のチェックの結果は後程。

その後東京、熊本など転勤を続け、2011年の東京勤務時、東北地方太平洋沖地震が起こりました。当時大手町に勤務していた私は、数時間かけて歩いて西荻窪まで帰りました。お店から電池など生活必需品が一斉に品薄となり、佐賀の実家から送ってもらったこともあります。また、ガソリンスタンドは長蛇の列でガソリン、灯油を買うのも一苦労でした。この時から、電池の常備と、車のガソリンは半分以上減ったら補給するように心掛けています。この地震が契機となり、仕事では携帯電話で安否を録音して確認できるサービスの立上げに携わりました。

この後、単身赴任が始まるのですが、2016年、大阪にいた頃、勤務経験がある熊本で地震が起こりました。友人知人もたくさんいます。福岡の同僚に連絡すると、みんな徹夜で現地の支援をしていました。それこそ、通信回線の復旧をはじめ、社員の食糧、水、生活物資を社用車で現地に届けるのです。懇意にしていた部下からの年賀状が仮住居からだったときに改めて被害にあわれた方の大変さを思いました。このとき、九州は地震が少ないので、安全だという経験値、思い込みが否定されたのです。地震をきっかけに大阪から九州にUターンしてきた友人もいるのですが、やや大げさに言うと日本中、地震がなく安心できる地域は無い、と思いました。

大阪勤務時の苦い経験もあります。2018年6月の大阪府北部地震です。最大震度6弱という大きな地震でした。タイミングが非常に悪く、私は福岡から大阪に営業の責任者として転勤した1~2週間後でした。たまたま東京で研修会があったので東京の自宅から出勤しようとした際に起こりました。こういう場合、「現地に向かうことは得策ではなく、動かずに待機すること」と教わってきましたが、着任して1~2週間です。職場とお客様の状況が気になって気になって仕方がありません。今思えば愚行でしかありませんが、大阪の職場に戻ろうと思ったのです。飛行機を予約して羽田空港に着いた頃にはほぼ欠航となることが分かり、次は新幹線です。東京駅に戻り、午後によく動き始めた新幹線に乗り時間をかけて新大阪に向かいました。その間部下からは社員の安全、お客様の状況の連絡が入り、大きな被害はないことが分かったのですが、逆に部下が私のことを心配していて「JRも地下鉄も動いていません、伊丹空港と新大阪駅は移動難民でいっぱいです、どうやって帰りますか?」と。恥ずかしながら自分からわざわざ移動難民となってしまったのです。阪急電車が動き出すという情報を得て、新大阪から十三駅まで歩き、時間も遅くなりやっとのことで自宅に着きました。下手に動いて、逆に迷惑をかけてしまうこともあると痛感した経験でした。

さて、先日休日の夕刻、防災リュックの中身を恐る恐る広げてみることにしました。

一部写真をご覧ください。もう使えなくなったものが沢山あります。



- ・防災ラジオ:手回しで充電でき便利です。携帯電話の充電コードもセットになってますが、昔のコネクタで今のUSBタイプには使えません。
- ・子供用マスク・軍手:子供は成人していますのでサイズが合いません。
- ・LEDライト(小):かろうじて点灯しますがふっと消えたりします、電池が消耗していたり接触が悪かったりしているようです。
- ・絆創膏類:一部開けてみると、ベタつきがあり、気持ち良く使える状態ではありません。
- ・ウェットティッシュ:カラリと乾燥していて普通のティッシュとなっています。
- ・遠赤外線カイロ:利用期限をみたら2008年でした..
- ・ジッポライター:喫煙される方はお分かりかと思いますが、オイルがないので使えません、以前オイルもセットでリュックに入れた記憶がありますが通常使いで使い切ってしまったようです..
- ・その他、個別に思いつきで買い揃えているので、ガーゼなど重複しているものが多くあります。

妻と笑いながら見直して買い揃えないといけないねと話したところです。妻は非常食・水を準備していたりするようですが、これも期限など怪しいようです。

逆に改めてなるほどこれはいいな、と思ったグッズもあります。

- ・100円ライター:10年以上経ってもきちんと着火できました。
- ・緊急AIDセット:子供が高校卒業時にもらったものですが、ケガをした時に必要なガーゼ、絆創膏、ハサミなどがセットになっています。
- ・ポータブルウォーターバッグ:水を入れておく容器
- ・サバイバルブランケット:アルミシートでごく軽い
- ・ホイッスル:自分の場所を知らせるため など

もし長年そのままにしている方がいらっしゃれば、これを機会にチェックされてはいかがでしょうか。みなさま、「備えあれば憂いなし」です。私は今週末、買い物に出かけようと思っています。